

## 横浜食肉市場ミート・フェアが開催されました

第38回横浜食肉市場ミート・フェアが、4月10日（金）に開催されました。今回のフェアには、全国から和牛の部に102頭、交雑種（乳牛の雌に和牛の雄を交配した雑種）の部に50頭、合計で152頭が出品され、審査及びセリが行われました。当所からは普及指導課職員が審査員として出席しました。

県内からは、和牛の部に2頭、交雑種の部に5頭、合計7頭が出品されました。交雑種の部では1頭が特別賞を受賞し、惜しくも入賞を逃した牛もセリで高値がつくなど、県内生産者の肥育技術の高さが評価されました。

今回のフェアでは、和牛の部では埼玉県が生産者が出品した去勢牛が名誉賞、交雑種の部では茨城県の生産者の雌牛が最優秀賞に選ばれました。

会場の冷蔵庫の中に整然と並ぶ枝肉は壮観で、枝肉の構成、枝肉重量、ロース芯面積、サシの入り、脂の質など全てにおいて素晴らしい仕上がりを見せ、生産者それぞれの技術や意気込みが感じられる出品となりました。

肉牛肥育経営は、依然として飼料価格の高止まり、資材価格の高騰等があり、厳しい状況にあります。

当所は、今回の結果も踏まえ県内の肉牛生産者が安心して経営を継続していけるよう、日頃の飼養管理技術向上等、生産基盤の強化を支援していきます。



和牛名誉賞の枝肉断面



出品枝肉